

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／債券 無期限	
運用方針	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	
ペビーファンド の主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
マザーファンド の主要投資対象	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
各ポートフォリオ のベンチマーク	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	各マザーファンドの受益証券のベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で当社が算出した合成指数をベンチマークとします。
組入制限	各ポートフォリオ共通	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	各マザーファンド共通	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

運用報告書(全体版)

しんきん 海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ
米国ソブリン債ポートフォリオ
欧米ソブリン債ポートフォリオ

第83期（決算日：2024年2月15日）

第84期（決算日：2024年5月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2024年5月15日に第84期の決算を行いました。

ここに、第83期から第84期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812
（土日、休日を除く）携帯電話からは03-5524-8181
9：00～17：00

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきん海外ソブリン債セレクション	頁
欧州ソブリン債ポートフォリオ	1
米国ソブリン債ポートフォリオ	11
欧米ソブリン債ポートフォリオ	21
分配金のお知らせ	32
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	33
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	37
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	46

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額		
	(分配落)	税分	み金	期騰落	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)			期騰落	
	円		円		%	ポイント	%	百万円	
75期(2022年2月15日)	9,176		45	△4.9		241.59	△4.2	96.5	265
76期(2022年5月16日)	8,856		45	△3.0		234.67	△2.9	95.6	253
77期(2022年8月15日)	8,827		45	0.2		236.61	0.8	96.5	250
78期(2022年11月15日)	8,524		45	△2.9		232.90	△1.6	97.0	244
79期(2023年2月15日)	8,227		45	△3.0		227.13	△2.5	95.7	231
80期(2023年5月15日)	8,534		45	4.3		236.70	4.2	96.2	240
81期(2023年8月15日)	8,950		45	5.4		250.93	6.0	96.5	247
82期(2023年11月15日)	9,231		45	3.6		261.45	4.2	96.3	247
83期(2024年2月15日)	9,296		45	1.2		266.37	1.9	95.9	245
84期(2024年5月15日)	9,625		45	4.0		279.72	5.0	95.9	241

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

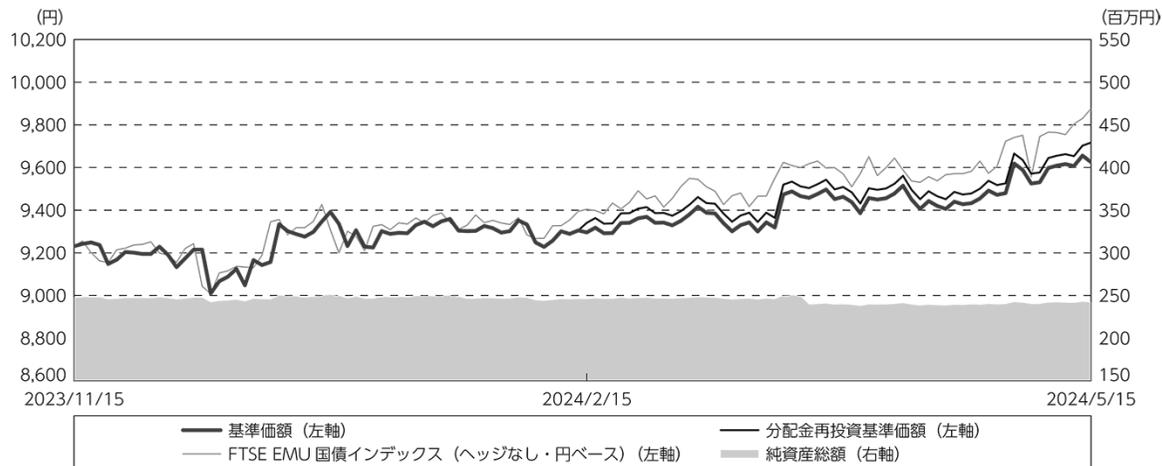
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし円ベース)	騰 落 率	
第83期	(期 首) 2023年11月15日	円	%	ポイント	%	%
		9,231	—	261.45	—	96.3
	11月末	9,229	△0.0	260.56	△0.3	96.1
	12月末	9,336	1.1	260.58	△0.3	96.4
	2024年1月末	9,295	0.7	264.54	1.2	96.4
第84期	(期 末) 2024年2月15日	9,341	1.2	266.37	1.9	95.9
	(期 首) 2024年2月15日	9,296	—	266.37	—	95.9
	2月末	9,342	0.5	266.65	0.1	96.2
	3月末	9,452	1.7	271.89	2.1	96.2
	4月末	9,619	3.5	275.89	3.6	96.8
	(期 末) 2024年5月15日	9,670	4.0	279.72	5.0	95.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中（第83期～第84期）の運用経過等（2023年11月16日～2024年5月15日）
 <当作成期中の基準価額等の推移>



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2023年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟(EMU)参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第82期末基準価額		9,231円	
要因	外国債券	キャピタル	122円
		インカム	103円
	為替		311円
	小計		536円
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△52円	
第84期末基準価額		9,625円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・欧州の経済成長鈍化に対する懸念が高まり、欧州中央銀行（ECB）が2024年の早期に利下げを行うとの見方が市場で広がり、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。
- ・日銀が緩和的な金融政策を今後も維持する旨の示唆を行ったこと等を受けて、日欧の金利差が意識され、ユーロが対円で上昇したこと。

<下落要因>

- ・2024年1月の米雇用統計の良好な結果や、2月と3月の米消費者物価指数（CPI）の上振れを背景に、米国の早期利下げ観測が後退したこと等を受け、米国債金利が上昇し、その影響を受けて欧州国債金利も上昇したため、欧州債券価格が下落したこと。
- ・4月に急激な円安が進行したこと等を背景に、日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、円が各国主要通貨に対して上昇したこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当作成期初の段階では、インフレ減速とドイツの実質国内総生産（GDP）成長率がマイナスに転じるなどの経済成長の鈍化を受けたこと等を背景にECBは政策金利を据え置き、2024年の利下げ期待が高まる中、欧州国債金利は大幅に低下しました。2024年2月にはドイツの1月製造業購買担当者景気指数（PMI）の改定値が速報値から上方修正されたことで、早期の利下げ観測が後退し、欧州国債金利は上昇しました。また、1月米雇用統計の良好な結果や、2月と3月の米CPIの上振れを背景に米国債金利が上昇していき、その影響を受けて欧州国債金利も上昇していきました。さらに、4月のユーロ圏のPMIの速報値が好調な結果となったことでECBによる6月以降の利下げに対する圧力が和らいだとの見方が広まり、欧州国債金利は上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2023年12月末にかけては欧州景気の減速によりECBによる追加利上げの可能性が後退したことや、植田日銀総裁の発言を受けて日銀による政策修正観測が高まったことでユーロ円相場が進行しました。一方、2024年1月以降の欧州国債金利の上昇で日欧の金利差が開いたことや、1月の日銀金融政策決定会合で金融政策修正が行われないとの見方が浮上したこと等を要因にユーロ円相場が安基調に推移していきました。3月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の利上げを決定したものの、緩和的な金融政策を維持する旨を示唆する中、ユーロ円相場が進みました。4月においては日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、それがユーロ円相場にも影響を及ぼし、一時円高に進む場面がありましたが、4月から5月にかけてもユーロ円相場に推移しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2024年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.39年、時価最終利回りは2.99%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+5.3%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+7.0%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第83期、第84期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第83期	第84期
	2023年11月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年5月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.482%	0.465%
当期の収益	41	45
当期の収益以外	3	—
翌期繰越分配対象額	2,874	2,878

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月16日～2024年 5月15日)

項 目	第83期～第84期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 49	% 0.520	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.025	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	51	0.545	
作成期間の平均基準価額は、9,378円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

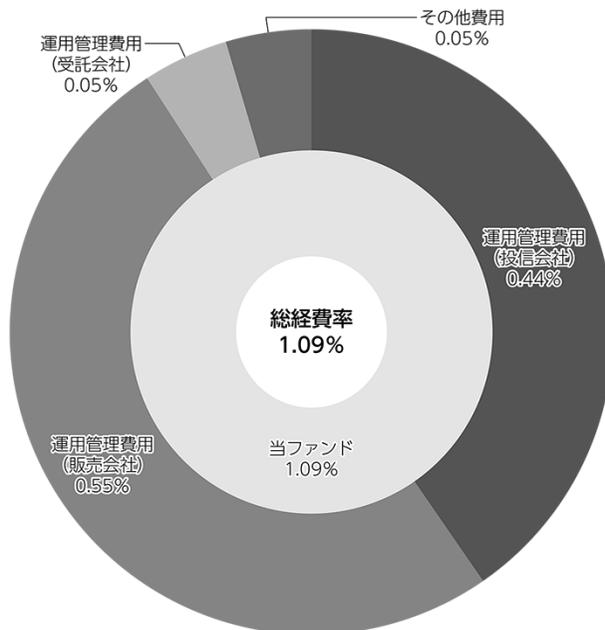
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧州ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第83期～第84期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	10,296	18,500

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第82期末		第84期末	
		口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		138,989	237,362	128,693	237,362

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド7,374,343千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年5月15日現在)

項 目	第84期末	
	評 価 額	比 率
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	千円 237,362	% 97.4
コール・ローン等、その他	6,319	2.6
投資信託財産総額	243,681	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年5月15日現在における外貨建純資産(13,529,645千円)の投資信託財産総額(13,601,083千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年5月15日現在、1ユーロ=169.33円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第83期末	第84期末
	2024年2月15日現在	2024年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	247,603,779	243,681,504
コール・ローン等	6,990,312	6,319,291
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	240,613,467	237,362,212
未収利息	-	1
(B) 負債	1,842,530	1,781,532
未払収益分配金	1,189,718	1,130,955
未払解約金	-	22,851
未払信託報酬	649,376	624,468
未払利息	12	-
その他未払費用	3,424	3,258
(C) 純資産総額(A-B)	245,761,249	241,899,972
元本	264,381,996	251,323,450
次期繰越損益金	△ 18,620,747	△ 9,423,478
(D) 受益権総口数	264,381,996口	251,323,450口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,296円	9,625円

(注1) 当ポートフォリオの第83期首元本額は267,970,104円、当作成期(第83期~第84期)中における追加設定元本額は3,179,932円、同一部解約元本額は19,826,586円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第83期0.9296円、第84期0.9625円です。

○損益の状況

項 目	第83期		第84期	
	2023年11月16日～ 2024年2月15日		2024年2月16日～ 2024年5月15日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	852	△	350
受取利息		—		26
支払利息	△	852	△	376
(B) 有価証券売買損益		3,551,246		10,006,277
売買益		3,581,954		10,248,745
売買損	△	30,708	△	242,468
(C) 信託報酬等	△	653,281	△	627,818
(D) 当期損益金 (A + B + C)		2,897,113		9,378,109
(E) 前期繰越損益金	△	22,862,986	△	19,956,720
(F) 追加信託差損益金		2,534,844		2,286,088
(配当等相当額)	(56,893,054)	(54,212,945)
(売買損益相当額)	(△)	54,358,210)	(△)	51,926,857)
(G) 計 (D + E + F)	△	17,431,029	△	8,292,523
(H) 収益分配金	△	1,189,718	△	1,130,955
次期繰越損益金 (G + H)	△	18,620,747	△	9,423,478
追加信託差損益金		2,534,844		2,286,088
(配当等相当額)	(56,893,675)	(54,213,842)
(売買損益相当額)	(△)	54,358,831)	(△)	51,927,754)
分配準備積立金		19,097,129		18,127,115
繰越損益金	△	40,252,720	△	29,836,681

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第83期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,103,915円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(56,893,675円)および分配準備積立金(19,182,932円)より分配対象収益は77,180,522円(10,000口当たり2,919円)であり、うち1,189,718円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第84期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,222,837円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(54,213,842円)および分配準備積立金(18,035,233円)より分配対象収益は73,471,912円(10,000口当たり2,923円)であり、うち1,130,955円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額		
		税分	込配	み金	期騰落	中率			FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落
	円			円		%	ポイント	%	%	百万円
75期(2022年2月15日)	9,723			45		△2.3	412.03	△1.7	96.9	322
76期(2022年5月16日)	10,240			45		5.8	437.02	6.1	96.4	332
77期(2022年8月15日)	10,448			45		2.5	450.53	3.1	96.9	323
78期(2022年11月15日)	10,379			45		△0.2	449.11	△0.3	96.8	316
79期(2023年2月15日)	9,952			45		△3.7	438.27	△2.4	96.7	306
80期(2023年5月15日)	10,368			45		4.6	455.48	3.9	96.8	321
81期(2023年8月15日)	10,663			45		3.3	469.96	3.2	97.1	323
82期(2023年11月15日)	10,919			45		2.8	485.77	3.4	97.0	334
83期(2024年2月15日)	11,091			45		2.0	497.32	2.4	97.2	314
84期(2024年5月15日)	11,475			45		3.9	517.21	4.0	96.9	324

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

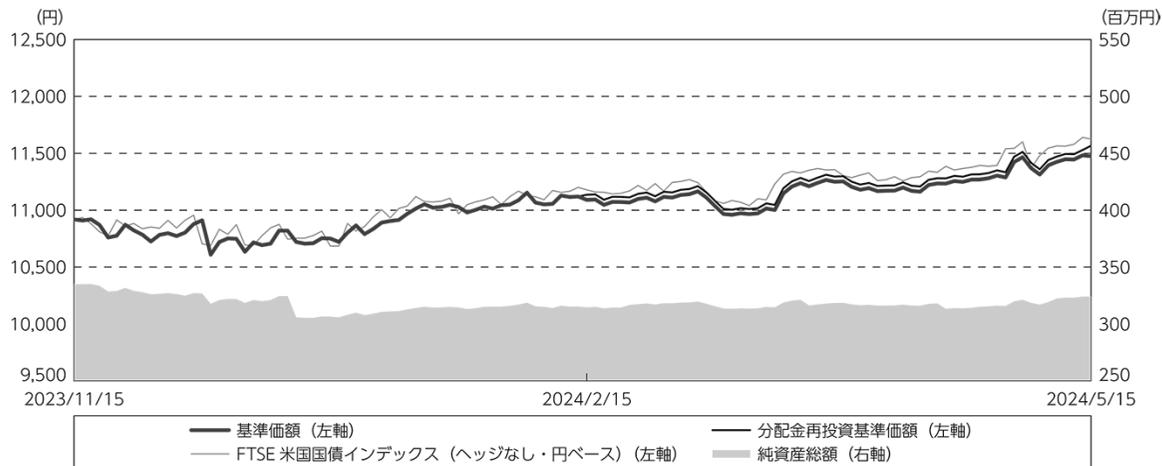
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落 率	
第83期	(期 首) 2023年11月15日	円 10,919	% -	ポイント 485.77	% -	% 97.0
	11月末	10,783	△1.2	482.32	△0.7	97.2
	12月末	10,721	△1.8	475.38	△2.1	97.5
	2024年1月末	11,044	1.1	491.59	1.2	97.2
	(期 末) 2024年2月15日	11,136	2.0	497.32	2.4	97.2
第84期	(期 首) 2024年2月15日	11,091	-	497.32	-	97.2
	2月末	11,117	0.2	496.85	△0.1	97.2
	3月末	11,250	1.4	505.24	1.6	96.9
	4月末	11,424	3.0	513.59	3.3	96.7
	(期 末) 2024年5月15日	11,520	3.9	517.21	4.0	96.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中（第83期～第84期）の運用経過等（2023年11月16日～2024年5月15日）
 <当作成期中の基準価額等の推移>



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2023年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第82期末基準価額		10,919円	
要因	外国債券	キャピタル	141円
		インカム	142円
	為替		426円
	小計		709円
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△63円	
第84期末基準価額		11,475円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

米国ソブリン債ポートフォリオ

<上昇要因>

- ・2024年1月の米雇用統計の良好な結果や、2月と3月の米消費者物価指数（C P I）の上振れを背景に、米連邦準備制度理事会（F R B）による政策金利の早期利下げ観測が後退したこと等を受け、米国債金利が上昇し、日米の金利差が意識され、米ドルが対円で上昇したこと。

<下落要因>

- ・上記の米経済指標の結果等を背景として、早期利下げ観測が後退したことを受け、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・2024年4月に急激な円安が進行したこと等を背景に、日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、日本円が米ドルに対して上昇したこと。

<投資環境>

（米国国債市況）

当作成期初は、米国の各経済指標がインフレの沈静化傾向を示し、F R Bによる政策金利の据え置きが続いたことで利上げ局面が終了したとの観測が広がり、米国債金利は低下しました。一方、年初以降は2023年12月の米C P Iや2023年10-12月期の米実質国内総生産（G D P）が市場予想を上回ったことで米国の早期の利下げ観測は後退し、米国債金利は上昇に向かいました。さらに、2024年2月と3月の米C P Iが市場予想を上回ったことで利下げ開始が想定より遅れるとの観測が強まり、米国債金利の上昇が続きました。しかし、5月の米連邦公開市場委員会（F O M C）ではパウエルF R B議長が金融緩和に前向きと捉えられる発言をしたほか、米国非農業部門雇用者の増加数が市場予想を下回ったことで利下げ期待が高まり、米国債金利は低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当作成期初から2023年12月末にかけては、米国の利下げ観測の高まりにより米長期金利が低下し、また、植田日銀総裁の発言を受けて日銀による政策修正観測が高まったことで米ドル円高が進行しました。しかし、2024年1月の能登半島地震を受けて今年早期の政策修正が困難になるとの見方が強まり、堅調な米国経済指標が見られたことで米ドル高円安基調に推移していきました。日銀は3月の金融政策決定会合でマイナス金利を解除し、利上げを行うことを決定したものの、緩和的な金融政策の維持の方針が続く旨を示唆しました。さらに、4月には米C P Iが市場予想を上回る中、急激な米ドル高円安が進行したこと等を背景に日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、円が上昇しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米回国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2024年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.93年、時価最終利回りは4.75%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米回国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+5.9%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+6.5%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第83期、第84期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第83期	第84期
	2023年11月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年5月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.404%	0.391%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	3,916	4,296

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月16日～2024年 5月15日)

項 目	第83期～第84期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 57	% 0.520	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(24)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	59	0.535	
作成期間の平均基準価額は、11,056円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

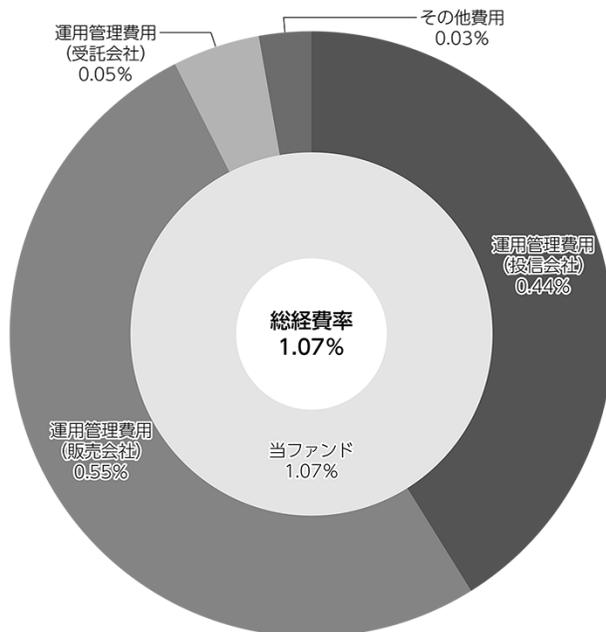
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第83期～第84期			
		設		約	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		2,008	4,400	16,228	34,500

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第82期末	第84期末		
		口	数	評	価
		千口	千口		千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		155,877	141,657		319,353

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,070,209千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年5月15日現在)

項 目	第84期末	
	評 価 額	比 率
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	千円 319,353	% 97.9
コール・ローン等、その他	6,810	2.1
投資信託財産総額	326,163	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年5月15日現在における外貨建純資産(13,618,317千円)の投資信託財産総額(13,684,628千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建資産は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年5月15日現在、1ドル=156.53円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第83期末	第84期末
	2024年2月15日現在	2024年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	316,671,394	326,163,414
コール・ローン等	6,655,927	6,809,695
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	310,015,467	319,353,718
未収利息	—	1
(B) 負債	2,115,098	2,089,764
未払収益分配金	1,276,248	1,270,859
未払信託報酬	834,447	814,646
未払利息	11	—
その他未払費用	4,392	4,259
(C) 純資産総額(A-B)	314,556,296	324,073,650
元本	283,610,726	282,413,182
次期繰越損益金	30,945,570	41,660,468
(D) 受益権総口数	283,610,726口	282,413,182口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,091円	11,475円

(注1) 当ポートフォリオの第83期首元本額は306,623,861円、当作成期(第83期~第84期)中における追加設定元本額は11,228,555円、同一部解約元本額は35,439,234円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第83期1.1091円、第84期1.1475円です。

○損益の状況

項 目	第83期		第84期	
	2023年11月16日～ 2024年2月15日		2024年2月16日～ 2024年5月15日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	746	△	346
受取利息		—		44
支払利息	△	746	△	390
(B) 有価証券売買損益		6,984,956		12,814,547
売買益		7,210,636		12,938,755
売買損	△	225,680	△	124,208
(C) 信託報酬等	△	839,227	△	819,001
(D) 当期損益金 (A + B + C)		6,144,983		11,995,200
(E) 前期繰越損益金		52,973,048		55,986,503
(F) 追加信託差損益金	△	26,896,213	△	25,050,376
(配当等相当額)	(53,219,413)	(54,617,505)
(売買損益相当額)	(△)	80,115,626)	(△)	79,667,881)
(G) 計 (D + E + F)		32,221,818		42,931,327
(H) 収益分配金	△	1,276,248	△	1,270,859
次期繰越損益金 (G + H)		30,945,570		41,660,468
追加信託差損益金	△	26,896,213	△	25,050,376
(配当等相当額)	(53,221,607)	(54,623,792)
(売買損益相当額)	(△)	80,117,820)	(△)	79,674,168)
分配準備積立金		57,841,783		66,710,844

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第83期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,743,672円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (3,849,323円)、信託約款に規定する収益調整金 (53,221,607円) および分配準備積立金 (53,525,036円) より分配対象収益は112,339,638円 (10,000口当たり3,961円) であり、うち1,276,248円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

第84期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,904,144円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (10,091,056円)、信託約款に規定する収益調整金 (54,623,792円) および分配準備積立金 (55,986,503円) より分配対象収益は122,605,495円 (10,000口当たり4,341円) であり、うち1,270,859円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債券組入比率	純資産総額	
		税分	込配	み金	期騰落	騰落			中率
	円			円	%	ポイント	%	百万円	
75期(2022年2月15日)	9,319			45	△3.6	18,223.95	△2.9	96.8	525
76期(2022年5月16日)	9,411			45	1.5	18,502.05	1.5	96.6	524
77期(2022年8月15日)	9,495			45	1.4	18,871.56	2.0	97.0	521
78期(2022年11月15日)	9,307			45	△1.5	18,705.23	△0.9	97.4	506
79期(2023年2月15日)	8,948			45	△3.4	18,255.35	△2.4	97.4	474
80期(2023年5月15日)	9,308			45	4.5	19,003.26	4.1	97.4	492
81期(2023年8月15日)	9,670			45	4.4	19,878.13	4.6	97.6	513
82期(2023年11月15日)	9,942			45	3.3	20,633.46	3.8	97.5	525
83期(2024年2月15日)	10,055			45	1.6	21,076.47	2.1	97.4	529
84期(2024年5月15日)	10,411			45	4.0	22,027.91	4.5	97.4	542

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で算出した合成指数（設定日2003年7月1日を10,000として指数化）です。

FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

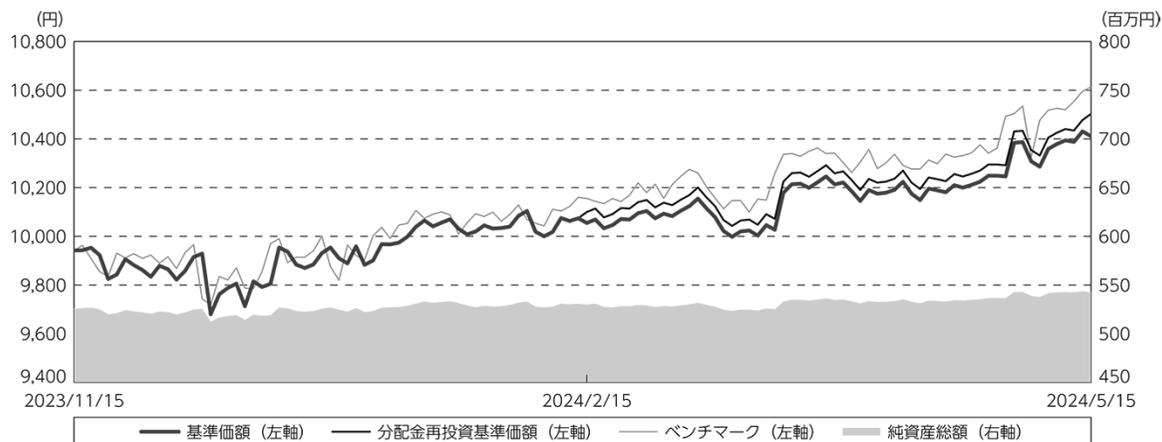
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第83期	(期 首) 2023年11月15日	円 9,942	% -	ポイント 20,633.46	% -	% 97.5
	11月末	9,879	△0.6	20,525.24	△0.5	97.3
	12月末	9,910	△0.3	20,379.40	△1.2	97.5
	2024年1月末	10,034	0.9	20,882.65	1.2	97.6
	(期 末) 2024年2月15日	10,100	1.6	21,076.47	2.1	97.4
第84期	(期 首) 2024年2月15日	10,055	-	21,076.47	-	97.4
	2月末	10,093	0.4	21,077.71	0.0	97.7
	3月末	10,213	1.6	21,463.31	1.8	97.6
	4月末	10,384	3.3	21,799.20	3.4	97.8
	(期 末) 2024年5月15日	10,456	4.0	22,027.91	4.5	97.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中（第83期～第84期）の運用経過等（2023年11月16日～2024年5月15日）
 <当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2023年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第82期末基準価額		9,942円	
要因	外国債券	キャピタル	131円
		インカム	121円
	為替	ドル	193円
		ユーロ	172円
小計		617円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△58円	
第84期末基準価額		10,411円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・欧州の経済成長鈍化に対する懸念が高まり、欧州中央銀行（ECB）が2024年の早期に利下げを行うとの見方が市場で広がり、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。
- ・日銀が緩和的な金融政策を今後も維持する旨の示唆を行ったこと等を受けて、日欧の金利差が意識され、ユーロが対円で上昇したこと。

<下落要因>

- ・2024年1月の米雇用統計の良好な結果や、2月と3月の米消費者物価指数（CPI）の上振れを背景に、米国の早期利下げ観測が後退したこと等を受け、米国債金利が上昇し、その影響を受けて欧州国債金利も上昇したため、欧州債券価格が下落したこと。
- ・4月に急激な円安が進行したこと等を背景に、日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、円が各国主要通貨に対して上昇したこと。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・2024年1月の米雇用統計の良好な結果や、2月と3月の米CPIの上振れを背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）による政策金利の早期利下げ観測が後退したこと等を受け、米国債金利が上昇し、日米の金利差が意識され、米ドルが対円で上昇したこと。

<下落要因>

- ・上記の米経済指標の結果等を背景として、早期利下げ観測が後退したことを受け、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・2024年4月に急激な円安が進行したこと等を背景に、日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、日本円が米ドルに対して上昇したこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当作成期初の段階では、インフレ減速とドイツの実質国内総生産（GDP）成長率がマイナスに転じるなどの経済成長の鈍化を受けたこと等を背景にECBは政策金利を据え置き、2024年の利下げ期待が高まる中、欧州国債金利は大幅に低下しました。2024年2月にはドイツの1月製造業購買担当者景気指数（PMI）の改定値が速報値から上方修正されたことで、早期の利下げ観測が後退し、欧州国債金利は上昇しました。また、1月米雇用統計の良好な結果や、2月と3月の米CPIの上振れを背景に米国債金利が上昇していき、その影響を受けて欧州国債金利も上昇していきました。さらに、4月のユーロ圏のPMIの速報値が好調な結果となったことでECBによる6月以降の利下げに対する圧力が和らいだとの見方が広まり、欧州国債金利は上昇しました。

(米国国債市況)

当作成期初は、米国の各経済指標がインフレの沈静化傾向を示し、FRBによる政策金利の据え置きが続いたことで利上げ局面が終了したとの観測が広がり、米国債金利は低下しました。一方、年初以降は2023年12月の米CPIや2023年10-12月期の米実質GDPが市場予想を上回ったことで米国の早期の利下げ観測は後退し、米国債金利は上昇に向かいました。さらに、2024年2月と3月の米CPIが市場予想を上回ったことで利下げ開始が想定より遅れるとの観測が強まり、米国債金利の上昇が続きました。しかし、5月の米連邦公開市場委

欧米ソブリン債ポートフォリオ

員会（FOMC）ではパウエルFRB議長が金融緩和に前向きと捉えられる発言をしたほか、米国非農業部門雇用者の増加数が市場予想を下回ったことで利下げ期待が高まり、米国債金利は低下しました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当作成期初から2023年12月末にかけては欧州景気の減速によりECBによる追加利上げの可能性が後退したことや、植田日銀総裁の発言を受けて日銀による政策修正観測が高まったことでユーロ安円高が進行しました。一方、2024年1月以降の欧州国債金利の上昇で日欧の金利差が開いたことや、1月の日銀金融政策決定会合で金融政策修正が行われないとの見方が浮上したこと等を要因にユーロ高円安基調に推移していきました。3月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の利上げを決定したものの、緩和的な金融政策を維持する旨を示唆する中、ユーロ高円安が進みました。4月においては日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、それがユーロ円相場にも影響を及ぼし、一時円高に進む場面がありましたが、4月から5月にかけてもユーロ高円安に推移しました。

（為替市況：ドル円市場）

当作成期初から2023年12月末にかけては、米国の利下げ観測の高まりにより米長期金利が低下し、また、植田日銀総裁の発言を受けて日銀による政策修正観測が高まったことで米ドル安円高が進行しました。しかし、2024年1月の能登半島地震を受けて今年早期の政策修正が困難になるとの見方が強まり、堅調な米国経済指標が見られたことで米ドル高円安基調に推移していきました。日銀は3月の金融政策決定会合でマイナス金利を解除し、利上げを行うことを決定したものの、緩和的な金融政策の維持の方針が続く旨を示唆しました。さらに、4月には米CPIが市場予想を上回る中、急激な米ドル高円安が進行したこと等を背景に日本政府・日銀が2度の米ドル売り為替介入を実施したとみられ、円が上昇しました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2024年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.39年、時価最終利回りは2.99%となっています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2024年5月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.93年、時価最終利回りは4.75%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+5.6%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+6.8%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第83期、第84期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第83期	第84期
	2023年11月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年5月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.446%	0.430%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,673	1,686

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月16日～2024年 5月15日)

項 目	第83期～第84期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.520	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(28)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	54	0.540	
作成期間の平均基準価額は、10,085円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

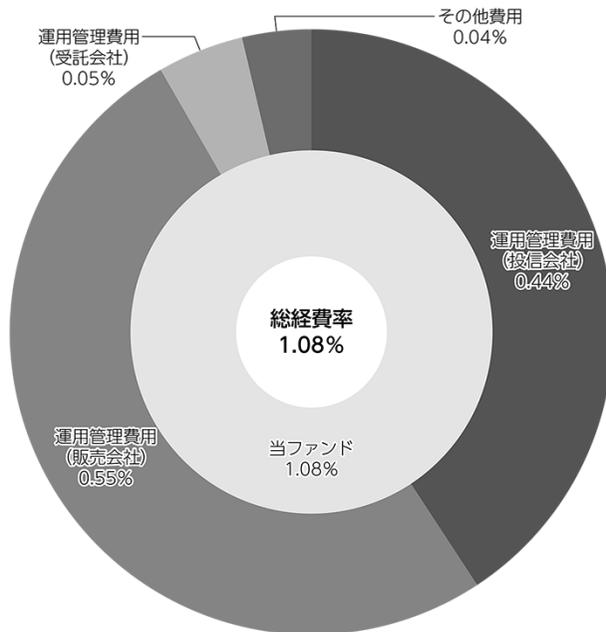
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧米ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第83期～第84期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	—	—	4,258	7,500
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	—	—	2,684	6,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年11月16日～2024年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年5月15日現在)

親投資信託残高

銘柄	第82期末	第84期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	151,294	147,035	271,192
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	121,566	118,882	268,008

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数はしんきん欧州ソブリン債マザーファンド7,374,343千口、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,070,209千口です。

○投資信託財産の構成

(2024年5月15日現在)

項 目	第84期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	271,192	49.5
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	268,008	49.0
コール・ローン等、その他	8,256	1.5
投資信託財産総額	547,456	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年5月15日現在における外貨建純資産(13,529,645千円)の投資信託財産総額(13,601,083千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2024年5月15日現在における外貨建純資産(13,618,317千円)の投資信託財産総額(13,684,628千円)に対する比率は99.5%です。

(注4) 外貨建資産は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年5月15日現在、1ドル=156.53円、1ユーロ=169.33円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第83期末	第84期末
	2024年2月15日現在	2024年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	533,607,037	547,456,671
コール・ローン等	8,740,399	8,255,799
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	261,856,906	271,192,798
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	263,009,732	268,008,072
未收利息	—	2
(B) 負債	3,758,246	4,840,963
未払収益分配金	2,371,182	2,345,303
未払解約金	—	1,119,431
未払信託報酬	1,379,775	1,369,051
未払利息	15	—
その他未払費用	7,274	7,178
(C) 純資産総額(A-B)	529,848,791	542,615,708
元本	526,929,335	521,178,644
次期繰越損益金	2,919,456	21,437,064
(D) 受益権総口数	526,929,335口	521,178,644口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,055円	10,411円

(注1) 当ポートフォリオの第83期首元本額は528,772,012円、当作成期(第83期~第84期)中における追加設定元本額は4,393,126円、同一部解約元本額は11,986,494円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第83期1.0055円、第84期1.0411円です。

○損益の状況

項 目	第83期		第84期	
	2023年11月16日～ 2024年2月15日		2024年2月16日～ 2024年5月15日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	976	△	304
受取利息		—		21
支払利息	△	976	△	325
(B) 有価証券売買損益		9,732,688		22,258,200
売買益		9,766,678		22,337,663
売買損	△	33,990	△	79,463
(C) 信託報酬等	△	1,387,531	△	1,376,314
(D) 当期損益金 (A + B + C)		8,344,181		20,881,582
(E) 前期繰越損益金		9,525,839		15,307,626
(F) 追加信託差損益金	△	12,579,382	△	12,406,841
(配当等相当額)	(40,576,902)	(40,222,543)
(売買損益相当額)	(△)	53,156,284)	(△)	52,629,384)
(G) 計 (D + E + F)		5,290,638		23,782,367
(H) 収益分配金	△	2,371,182	△	2,345,303
次期繰越損益金 (G + H)		2,919,456		21,437,064
追加信託差損益金	△	12,579,382	△	12,406,841
(配当等相当額)	(40,579,334)	(40,223,024)
(売買損益相当額)	(△)	53,158,716)	(△)	52,629,865)
分配準備積立金		47,624,527		47,681,841
繰越損益金	△	32,125,689	△	13,837,936

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第83期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,697,259円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,579,334円)および分配準備積立金(47,298,450円)より分配対象収益は90,575,043円(10,000口当たり1,718円)であり、うち2,371,182円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第84期計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,002,491円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,223,024円)および分配準備積立金(47,024,653円)より分配対象収益は90,250,168円(10,000口当たり1,731円)であり、うち2,345,303円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）

	第83期	第84期
欧州ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
米国ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

- (注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。
- (注2) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2024年5月15日現在)

<しんきん欧州ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(7,374,343千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第84期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	20,150	20,629	3,493,222	25.7	—	17.9	4.8	3.0
フランス	27,500	26,668	4,515,784	33.2	—	24.5	6.4	2.3
オランダ	5,700	5,048	854,926	6.3	—	5.2	1.1	—
スペイン	16,500	16,406	2,778,139	20.4	—	15.0	2.4	3.0
ベルギー	6,300	5,971	1,011,073	7.4	—	6.5	0.5	0.5
オーストリア	4,350	3,817	646,368	4.8	—	2.9	1.2	0.7
合 計	80,500	78,541	13,299,515	97.8	—	72.1	16.2	9.5

(注1) 邦貨換算金額は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

参考情報

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第84期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,300	1,928	326,481	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	1,977	334,847	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,202	372,996	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	200	194	32,947	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,919	494,302	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,950	2,094	354,594	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,300	3,774	639,081	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	1,700	1,839	311,423	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,100	3,700	626,548	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,015	341,242	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	1,900	1,844	312,285	2025/5/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	1,950	1,840	311,735	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,946	329,638	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,600	1,298	219,806	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,700	2,466	417,570	2031/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,400	2,352	398,295	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,279	555,355	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	2,900	2,841	481,123	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,800	3,041	514,972	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	950	1,095	185,460	2041/4/25
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,200	2,647	448,298	2032/10/25
		オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	412
NETHER 0.250 07/15/29	0.25			300	264	44,820	2029/7/15
NETHER 0.500 01/15/40	0.5			1,400	979	165,784	2040/1/15
NETHER 0.500 07/15/26	0.5			100	94	16,064	2026/7/15
NETHER 0.750 07/15/27	0.75			800	750	127,070	2027/7/15
NETHER 2.500 01/15/33	2.5			2,600	2,547	431,363	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	2,900	2,591	438,852	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,000	1,912	323,792	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	1,500	1,465	248,094	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,817	477,100	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	984	166,673	2025/10/31
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	400	371	62,937	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,900	3,109	526,587	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,800	3,154	534,100	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	400	388	65,839	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	400	375	63,519	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,200	1,091	184,749	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,063	180,034	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,294	219,248	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,500	1,758	297,682	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	250	205	34,840	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	500	466	78,932	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	500	462	78,272	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	600	582	98,717	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,200	870	147,363	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,300	1,229	208,242	2034/5/23
合 計						13,299,515	

(注1) 邦貨換算金額は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(6,070,209千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第84期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	97,000	85,974	13,457,604	98.3	—	48.3	19.3	30.7
合計	97,000	85,974	13,457,604	98.3	—	48.3	19.3	30.7

(注1) 邦貨換算金額は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		第84期末					
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円		
国債証券	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	3,800	2,486	389,231	2041/8/15	
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	2,998	469,288	2046/5/15	
	T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	2,750	2,091	327,433	2047/2/15	
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	3,600	2,926	458,114	2042/2/15	
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,856	447,062	2048/5/15	
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	1,500	1,339	209,719	2039/2/15	
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,439	538,340	2044/2/15	
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	2,932	459,005	2040/5/15	
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,382	372,971	2037/2/15	
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,136	177,953	2029/2/15	
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,047	164,014	2026/11/15	
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,267	198,460	2030/8/15	
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	2,250	1,802	282,097	2030/11/15	
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	3,200	3,113	487,385	2025/1/15	
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,200	2,572	402,692	2031/8/15	
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	3,800	3,061	479,220	2031/11/15	
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,362	213,223	2030/2/15	
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,687	577,177	2026/2/15	
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,476	544,252	2026/5/15	
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	1,900	1,651	258,534	2029/8/15	
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,720	738,923	2025/8/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	650	640	100,216	2024/11/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,324	676,842	2025/11/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,950	2,729	427,293	2027/11/15	
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,444	226,045	2026/1/31	
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	1,000	920	144,129	2029/2/15	

参考情報

銘 柄			第84期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千ドル	千ドル	千円	
アメリカ	国債証券	T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	600	588	92,116	2025/2/28
		T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,983	779,998	2025/5/31
		T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	3,400	3,210	502,577	2028/11/15
		T-NOTE 3.500 02/15/33	3.5	2,700	2,512	393,343	2033/2/15
	特殊債券 (除く金融債)	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,584	717,538	2030/1/24
		IADB 2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,330	521,253	2025/1/15
		IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,924	301,172	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,427	379,970	2026/10/27	
合 計					13,457,604		

(注1) 邦貨換算金額は、2024年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

運用報告書

親投資信託

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第21期

(決算日：2024年2月8日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第21期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。</p> <p>②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。</p> <p>④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産額
	期騰落	中率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
17期(2020年2月10日)	円	%	ポイント	%	%	百万円
	15,958	2.7	231.99	4.7	98.5	13,040
18期(2021年2月8日)	16,988	6.5	249.57	7.6	98.3	12,436
19期(2022年2月8日)	16,661	△ 1.9	244.25	△ 2.1	98.3	12,675
20期(2023年2月8日)	15,046	△ 9.7	225.13	△ 7.8	98.2	12,701
21期(2024年2月8日)	17,508	16.4	264.17	17.3	98.0	13,585

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2023年2月8日	円	%	ポイント	%	%	
	15,046	—	225.13	—	98.2	
2月末	15,139	0.6	225.89	0.3	97.9	
3月末	15,509	3.1	231.57	2.9	97.9	
4月末	15,668	4.1	240.53	6.8	97.9	
5月末	16,015	6.4	239.31	6.3	98.4	
6月末	16,808	11.7	252.64	12.2	98.2	
7月末	16,529	9.9	250.55	11.3	98.3	
8月末	16,984	12.9	253.58	12.6	98.3	
9月末	16,288	8.3	246.73	9.6	98.1	
10月末	16,575	10.2	250.98	11.5	98.4	
11月末	17,419	15.8	260.56	15.7	98.4	
12月末	17,638	17.2	260.58	15.7	98.1	
2024年1月末	17,577	16.8	264.54	17.5	98.1	
(期末) 2024年2月8日	17,508	16.4	264.17	17.3	98.0	

(注) 騰落率は期首比です。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第21期の運用経過等（2023年2月9日～2024年2月8日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・インフレ高進を抑制するため、欧州中央銀行（ECB）政策理事会が、2023年9月まで継続的な利上げを実施していたことで、ドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇傾向となったことや、9月のECB政策理事会後、ラガルド総裁が利下げを現段階では議論していないと発言したこと等を受けて、11月までユーロ高円安が大きく進んだこと。
- ・2023年11月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言が、利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、米国債金利が大きく低下した流れが欧州国債にも波及し、年末にかけて欧州国債金利も大きく低下したこと。

<下落要因>

- ・インフレ高進を抑制するため、ECB政策理事会が、2023年9月まで継続的な利上げを実施していたことや、米国債金利の上昇の流れを受けて、10月頃までドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇傾向となったこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当期初は、ECBが2022年よりインフレ圧力抑制のため利上げを継続的に実施していたため、欧州国債金利は上昇基調で推移しました。2023年3月中旬は、米シリコンバレーバンク(SVB)の経営破綻によるリスク回避の動きが欧州全体にも広がり、欧州国債金利は低下しました。その後は、ECBが継続的な利上げを実施していたことや、9月のECB政策理事会後、ラガルド総裁が利下げを現段階では議論していないと発言したこと等を受けて、10月ごろまで欧州国債金利は上昇基調で推移しました。しかし、11月のFOMCで米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエルFRB議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、米国債金利が大きく低下した流れが欧州国債にも波及し、年末にかけて欧州国債金利も大きく低下しました。2024年初以降は、ドイツの1月の製造業購買担当者景気指数(PMI)の改定値が速報値から上方修正されたことで、早期の利下げ観測が後退したことや、米雇用関連統計の良好な結果を受けた米国債の金利上昇に連れて、欧州国債金利はやや上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当期初から、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきたこと等を背景に、2023年11月まではユーロが円に対して強含みました。一方で、年末にかけては、上記要因等を受けた欧州国債金利の低下や、日本銀行の植田総裁が12月に行われた参議院財政金融委員会で、今後の金融政策について「年末から来年にかけて一段とチャレンジングになる」と発言したことで、12月以降の日銀金融政策決定会合で金融政策修正の可能性が意識されたこと等が材料視され、円が買い戻されました。その後、当期末にかけては、欧州国債金利の上昇に連れて、再びユーロ高円安となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション(金利感応度)は、中立を基本としました。2024年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは7.36年、時価最終利回りは2.76%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当期における基準価額の騰落率は+16.4%となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)の騰落率は+17.3%でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

<今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.043	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.043	
期中の平均基準価額は、16,512円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2023年2月9日～2024年2月8日)

公社債

外 国	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	4,648	4,909
	フランス	国債証券	4,859	7,891
	オランダ	国債証券	1,568	1,284
	スペイン	国債証券	2,723	4,157
	ベルギー	国債証券	1,468	2,184
	オーストリア	国債証券	1,685	1,922

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年2月9日～2024年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	21,450	22,358	3,570,173	26.3	—	19.4	5.8	1.0
フランス	29,250	28,711	4,584,649	33.7	—	23.3	6.8	3.7
オランダ	5,800	5,199	830,325	6.1	—	5.1	1.0	—
スペイン	17,000	16,861	2,692,445	19.8	—	14.7	4.0	1.2
ベルギー	6,400	6,108	975,380	7.2	—	6.1	0.7	0.5
オーストリア	4,650	4,114	656,930	4.8	—	2.8	1.3	0.7
合 計	84,550	83,353	13,309,905	98.0	—	71.4	19.6	7.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第21期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,300	1,955	312,225	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	1,999	319,330	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,205	352,235	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	900	875	139,803	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,977	475,371	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,650	1,816	290,109	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	3,983	636,127	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,500	2,757	440,393	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,100	3,786	604,577	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,038	325,464	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,800	2,710	432,770	2025/5/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	2,550	2,424	387,148	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,975	315,484	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,600	1,317	210,409	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,700	2,501	399,475	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	400	398	63,555	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,400	2,389	381,599	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,319	530,105	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	2,900	2,892	461,832	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,900	3,215	513,457	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	700	822	131,314	2041/4/25
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,200	2,705	432,030	2032/10/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	416	66,517	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	445	71,105	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,400	995	159,030	2040/1/15
		NETHER 0.500 07/15/26	0.5	100	95	15,197	2026/7/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	800	755	120,715	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,500	2,490	397,758	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,700	3,315	529,498	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,000	1,921	306,753	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	1,500	1,470	234,799	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,829	451,830	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	986	157,599	2025/10/31
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	400	373	59,602	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,700	2,910	464,701	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,700	3,053	487,659	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	400	388	61,988	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	600	566	90,399	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,200	1,101	175,819	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,075	171,759	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,310	209,233	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,400	1,666	266,180	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	250	207	33,117	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	500	468	74,767	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	700	651	104,051	2028/2/20

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第 21 期ー

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オーストリア	国債証券	RAGB 1.200 10/20/25	1.2	600	583	93,192	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,300	956	152,689	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,300	1,246	199,111	2034/5/23
合 計						13,309,905	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,309,905	98.0
コール・ローン等、その他	275,184	2.0
投資信託財産総額	13,585,089	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (13,504,844千円) の投資信託財産総額 (13,585,089千円) に対する比率は99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年2月8日現在、1ユーロ＝159.68円です。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 21 期 ー

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	13,585,089,751	
コール・ローン等	127,439,896	
公社債(評価額)	13,309,905,235	
未収利息	139,935,965	
前払費用	7,808,655	
(B) 負債	1,456	
未払利息	233	
その他未払費用	1,223	
(C) 純資産総額(A-B)	13,585,088,295	
元本	7,759,452,871	
次期繰越損益金	5,825,635,424	
(D) 受益権総口数	7,759,452,871口	
1万口当たり基準価額(C/D)	17,508円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は8,441,728,106円、期中追加設定元本額は1,124,842,247円、期中一部解約元本額は1,807,117,482円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額

しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	5,933,180,203円
しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	632,735,669円
しんきん3資産ファンド(1年決算型)	377,606,627円
しんきん世界アロケーションファンド	208,896,065円
しんきん世界アロケーションファンド(積極型)	194,437,895円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	149,873,095円
欧州ソブリン債ポートフォリオ	137,568,596円
しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)	125,154,721円

(注3) 1口当たり純資産額は1.7508円です。

○損益の状況 (2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	315,592,607	
受取利息	315,628,584	
その他収益金	719	
支払利息	△ 36,696	
(B) 有価証券売買損益	1,722,558,349	
売買益	1,866,068,751	
売買損	△ 143,510,402	
(C) 保管費用等	△ 5,951,688	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,032,199,268	
(E) 前期繰越損益金	4,260,108,893	
(F) 追加信託差損益金	696,597,753	
(G) 解約差損益金	△1,163,270,490	
(H) 計(D+E+F+G)	5,825,635,424	
次期繰越損益金(H)	5,825,635,424	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第21期

(決算日：2024年2月8日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第21期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産総額
	円	騰落率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落率		
17期(2020年2月10日)	17,061	8.5%	393.90ポイント	8.7%	98.5%	13,343百万円
18期(2021年2月8日)	17,139	0.5%	392.59	△0.3%	98.6%	12,510
19期(2022年2月8日)	18,027	5.2%	415.21	5.8%	98.5%	12,921
20期(2023年2月8日)	18,693	3.7%	433.40	4.4%	98.6%	12,701
21期(2024年2月8日)	21,473	14.9%	497.07	14.7%	98.5%	14,047

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	円	騰落率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落率		
(期首) 2023年2月8日	18,693	—	433.40ポイント	—	98.6%	98.6%
2月末	19,165	2.5%	442.00	2.0%	99.0%	99.0%
3月末	19,244	2.9%	444.26	2.5%	98.7%	98.7%
4月末	19,416	3.9%	456.98	5.4%	98.6%	98.6%
5月末	20,052	7.3%	463.48	6.9%	99.0%	99.0%
6月末	20,674	10.6%	475.93	9.8%	98.8%	98.8%
7月末	20,068	7.4%	466.21	7.6%	98.3%	98.3%
8月末	20,698	10.7%	475.27	9.7%	98.8%	98.8%
9月末	20,711	10.8%	476.42	9.9%	98.7%	98.7%
10月末	20,478	9.5%	477.67	10.2%	98.5%	98.5%
11月末	20,894	11.8%	482.32	11.3%	98.2%	98.2%
12月末	20,790	11.2%	475.38	9.7%	98.8%	98.8%
2024年1月末	21,444	14.7%	491.59	13.4%	98.4%	98.4%
(期末) 2024年2月8日	21,473	14.9%	497.07	14.7%	98.5%	98.5%

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第21期の運用経過等（2023年2月9日～2024年2月8日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施していたことや、米政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいと市場で見られていたこと等を背景として、米国債金利が上昇傾向となる中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。

<下落要因>

- ・米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されていたことや、その後も政策金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いとFRB高官等が示唆していたこと等を受けて、米国債金利が上昇したこと。

＜投資環境＞

（米国国債市況）

当期初から2023年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施していたことや、利上げ停止後も米政策金利がより長期にわたって高水準で維持される公算が大きいと市場で見られていたこと等を背景に、米国債金利は上昇傾向で推移しました。その後は、11月のFOMCで米政策金利の据え置きが決定され、FOMC後に行ったパウエルFRB議長の発言が、利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められたことや、12月のFOMCで、2024年に複数回の金利引下げを行うとの見通しが示されたこと等を要因として、当期末にかけて米国債金利は大きく低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初から2023年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、利上げを継続的に実施したことで米国債金利が上昇したことを受けて、米ドル高円安基調で推移しました。11月から12月までの米ドル円相場は、利下げ終了を示唆する発言をパウエルFRB議長が行ったこと等を受けて、米国債金利が大きく低下したことで米ドルが売られ、米ドル安円高が進みました。一方で、2024年に入ってから、市場の早期利下げ期待をけん制する旨のFRB高官の発言等が材料視され、米国の早期利下げ観測がやや後退したことや、元日に発生した能登半島地震の影響を考慮し、1月の日銀金融政策決定会合では金融政策の修正は行われないと市場で予想されていたことで、米ドルが買い戻されました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2024年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは5.95年、時価最終利回りは4.42%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+14.9%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+14.7%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.024	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.024	
期中の平均基準価額は、20,302円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2023年2月9日～2024年2月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 21,745	千ドル 22,661

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月9日～2024年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千ドル 103,700	千ドル 93,387	千円 13,835,421	% 98.5	% —	% 49.4	% 19.6	% 29.4
合 計	103,700	93,387	13,835,421	98.5	—	49.4	19.6	29.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第21期ー

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当		期		償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券					
	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	3,800	2,561	379,476	2041/8/15
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	3,106	460,289	2046/5/15
	T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	2,500	1,971	292,075	2047/2/15
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,600	3,859	571,839	2042/2/15
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,964	439,166	2048/5/15
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,299	340,687	2039/2/15
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,561	527,599	2044/2/15
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	3,022	447,713	2040/5/15
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,455	363,731	2037/2/15
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,158	171,673	2029/2/15
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,058	156,778	2026/11/15
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,284	190,243	2030/8/15
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	3,450	2,802	415,243	2030/11/15
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,200	4,057	601,132	2025/1/15
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,200	2,615	387,430	2031/8/15
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	3,800	3,114	461,349	2031/11/15
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,380	204,530	2030/2/15
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,692	546,977	2026/2/15
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,485	516,357	2026/5/15
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	1,900	1,675	248,157	2029/8/15
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,716	698,740	2025/8/15
	T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	650	636	94,292	2024/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,329	641,388	2025/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,950	2,756	408,429	2027/11/15
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	3,900	3,843	569,479	2024/8/15
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	1,500	1,449	214,768	2026/1/31
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,550	2,381	352,872	2029/2/15
	T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	600	587	87,025	2025/2/28
	T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,984	738,476	2025/5/31
	T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	3,400	3,259	482,853	2028/11/15
	特殊債券 (除く金融債)					
	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,635	686,727	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,312	490,710	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,932	286,292	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,436	360,911	2026/10/27
合	計				13,835,421	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,835,421	98.5
コール・ローン等、その他	212,516	1.5
投資信託財産総額	14,047,937	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (13,992,863千円) の投資信託財産総額 (14,047,937千円) に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2024年2月8日現在、1ドル=148.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月8日現在)

○損益の状況 (2023年2月9日~2024年2月8日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,047,937,700
コール・ローン等	93,707,750
公社債(評価額)	13,835,421,993
未収利息	114,358,534
前払費用	4,449,423
(B) 負債	1,416
未払利息	160
その他未払費用	1,256
(C) 純資産総額(A-B)	14,047,936,284
元本	6,542,253,274
次期繰越損益金	7,505,683,010
(D) 受益権総口数	6,542,253,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,473円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	370,483,406
受取利息	370,518,029
支払利息	△ 34,623
(B) 有価証券売買損益	1,501,503,193
売買益	1,850,131,222
売買損	△ 348,628,029
(C) 保管費用等	△ 3,237,742
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,868,748,857
(E) 前期繰越損益金	5,906,333,637
(F) 追加信託差損益金	916,667,280
(G) 解約差損益金	△1,186,066,764
(H) 計(D+E+F+G)	7,505,683,010
次期繰越損益金(H)	7,505,683,010

(注1) 当親投資信託の期首元本額は6,794,667,025円、期中追加設定元本額は908,642,720円、期中一部解約元本額は1,161,056,471円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 5,002,261,771円
 しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 532,517,868円
 しんきん3資産ファンド(1年決算型) 307,397,956円
 しんきん世界アロケーションファンド 171,255,418円
 しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 159,731,399円
 米国ソブリン債ポートフォリオ 145,143,887円
 欧米ソブリン債ポートフォリオ 121,566,782円
 しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 102,378,193円

(注3) 1口当たり純資産額は2.1473円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

当ファンドを投資対象とするベビーファンドを新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について投資信託約款に所要の変更を行いました。(2023年9月9日実施)